

世界に示した「大いなる挑戦」

出展者数、入場者数とも過去最大規模に

JATAと日本観光振興協会(日観振)は9月24日から27日までの4日間にわたり、東京・有明の東京ビッグサイトと東京・丸の内内のJPTタワーを会場に「ツーリズムEXPOジャパン2015」を開催しました。昨年に続いて、今年が第2回となった世界最大級の旅の祭典には、国内47都道府県から約500の団体・企業、140を超える国・地域から約600の団体・企業が参加し、4日間での来場者も17万3602人を数えています。期間中には、都市型MICEイベントとして、JAPAN NIGHT 2015を東京駅前の丸の内エリアで実施したほか、観光産業の発展・拡大に寄与している団体・個人を顕彰する「ジャパン・ツーリズム・アワード」の表彰式や「Tourism and Culture」旅と文化をテーマに掲げた国際観光フォーラムも開催され、2年目を迎えた「ツーリズムEXPOジャパン2015」が大きく飛躍したことを内外に示しました。

による産業の広がり、(4)グローバル化、という4点を挑戦のテーマとして説明しました。

今年の「JAPAN NIGHT」では青森県がプレミアムステイネーションパートナーとして「ねぶた」の運行を行って、東京から地方の伝統文化を発信する形となり、展示会での47都道府県による様々な工夫を凝らした情報提供と併せて、「地域性の強化」が実現されています。

**17万3602人が来場
出展は内外の約1100に**

田川博己 JATA 会長は開会式で、「誕生から2年目を迎えた『ツーリズムEXPOジャパン』は、ホップステップジャンプの『ステップ』の年であり、来年に向けて大いなる挑戦を試みた」と語り、(1)地域性の強化、(2)海外旅行の新たな進化、(3)新しい連携

海外からは140を超える国と地域から出展や商談の参加があり、改めて、日本に対する多くの国々からの期待が示されており、田川会長は、「渡航自由化から51年目を迎えて踊り場状態にある海外旅行を、なんとしても新たに進化させ、期待に応えなければならぬ」と決意を表明しました。

また、「ツーリズムEXPOジャパン



基調シンポジウムで挨拶する田村明比古 観光庁長官

2015」ではショッピングツーリズムの大きな展示も行われており、田川会長は、昨年に続く伝統工芸品の「匠のストーリー」の展示とも合わせて、「産業連携は着実に広がっている」とその意義を訴えています。

さらに、今年は国際観光フォーラムを2日間に拡大したに加え、外務省の主催によるアジア欧州会議(ASEM)のシンポジウムも同時開催されたほか、新たな取り組みとしてアジア・ツーリズム・リーダーズフォーラムも実施され、田川会長は、「アジアに焦点を合わせ、観光を通じた新しい時代を、ともに開いていきたい」と意欲を示しました。



田川博己 JATA 会長
「2年目を迎えて挑戦を試みた」



西村明宏 国土交通副大臣
「観光市場の活性化を目指す重要なイベント」

開会式で来賓として登壇した西村明宏国土交通副大臣は、「国内旅行・海外旅行・訪日旅行とMICEが一体となった『ツーリズムEXPOジャパン』は観光市場の活性化を目的とする非常に重要なイベントだ」という認識を示し、「日本経済の牽引役となっているインバウンドのみならず、国内観光の振興や日本と海外との双方向交流の促進にもつながる」と評価しています。



各国の観光大臣や大使など来賓も加わって行われたテープカット



ねぶたが舞ったJAPANNIGHT 東京駅前丸の内エリア会場に内外から1700人



雨の中を軽快に踊るハネトの姿は青森県の心意気を感じさせてくれました



「JAPAN NIGHT」のオープニングでは、青森県の三村申吾知事（中央左）をはじめ関係者による鏡開きが行われました



太田昭宏 国土交通大臣
[「JAPAN NIGHT」を起爆剤に]

「ツーリズムEXPOジャパン2015」開催期間中の9月25日、東京駅前の行幸通り・丸の内エリアで国家戦略特区を活用した都市型MICEイベント「JAPANNIGHT 2015」が開催されました。観光庁と日本政府観光局の主催による「VISIT JAPAN トラベルマーケット&MICEマート2015」への参加者らも合わせて約1700人が集まり、国内外からの来賓や日本の旅行・観光関係者、訪日旅行バイヤーらが交流を深めています。

イベントの冒頭で挨拶に立った日本観光振興協会の山口範雄会長は、「丸の内エリアから日本の観光文化・伝統食を発信することに加えて、日本の各地域や世界の各国と『ツーリズムEXPOジャパン』を連動させて波及効果を生み出すプレミアムテ



第1回ジャパン・ツーリズム・アワード
「ツーリズムEXPOジャパン」とのシナジー効果により、国内・海外の団体・組織・企業による取り組みの顕彰を通じ、ツーリズム業界の発展・拡大に寄与することを目指して、国内・訪日領域、海外領域、国際領域（UNWTO部門賞）の3領域で26組を表彰。第1回の今年は、瀬戸内国際芸術祭実行委員会に大賞が贈られました。（7ページに詳細）



ツアーグランプリ 2015
旅行業における企画力やマーケティング力の向上と「観光立国」に寄与することを目指して、海外旅行・国内旅行で最も優れた企画旅行（募集型・受注型）を履行した旅行会社8社10組を表彰。国土交通大臣賞には昭和観光社が輝き、国内旅行では初めての同賞の受賞となりました。（8ページに詳細）

また、来賓として登壇した太田昭宏国土交通大臣は、「二昨年に1000万人を超えた訪日外国人旅行者数が今年には、

「JAPANNIGHT」を起爆剤に頑張りました」と呼びかけました。とともに、双方向交流の拡大に向けて、この



四代目中村鷹治郎による口上



バイオリンと日本舞踊のコラボレーションも



JPタワーでの交流会